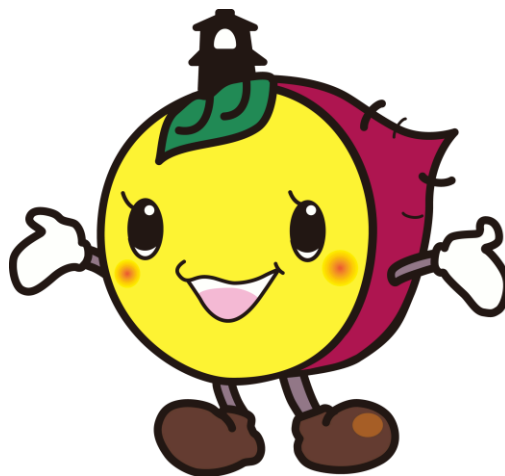


# 川越市版スーパー・シティプロジェクト 地域まちづくり計画



令和8年3月  
川越市

# 取組の概要

## まちづくりにおける課題

本市の人口は、近年、35万3,000人前後で、ほぼ横ばいで推移してきましたが、今後は、本格的な減少局面に突入するものと見込まれています。また、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、地域における人と人とのつながりの希薄化が進んでおり、地域コミュニティにおける見守り、子育て、防犯、防災などに関する機能の低下が懸念されています。さらに、自然災害が激甚化・頻発化する中で、市民の安全・安心な生活を守るため、災害に強いまちづくりが必要となっています。

## まちづくりの方向性

人口減少と少子・超高齢社会の進行を見据え、高齢者や子育て世代を含め誰もが安心できる健康で快適な生活環境を実現するため、また将来にわたり持続可能な都市経営を可能とするため、医療、福祉、商業などの都市機能や居住の誘導・維持と公共交通の充実によるコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進します。

また、防災・減災対策をすすめ、市民が安全・安心に暮らせる持続可能なまちづくりを進めます。

## 他の計画における位置付け

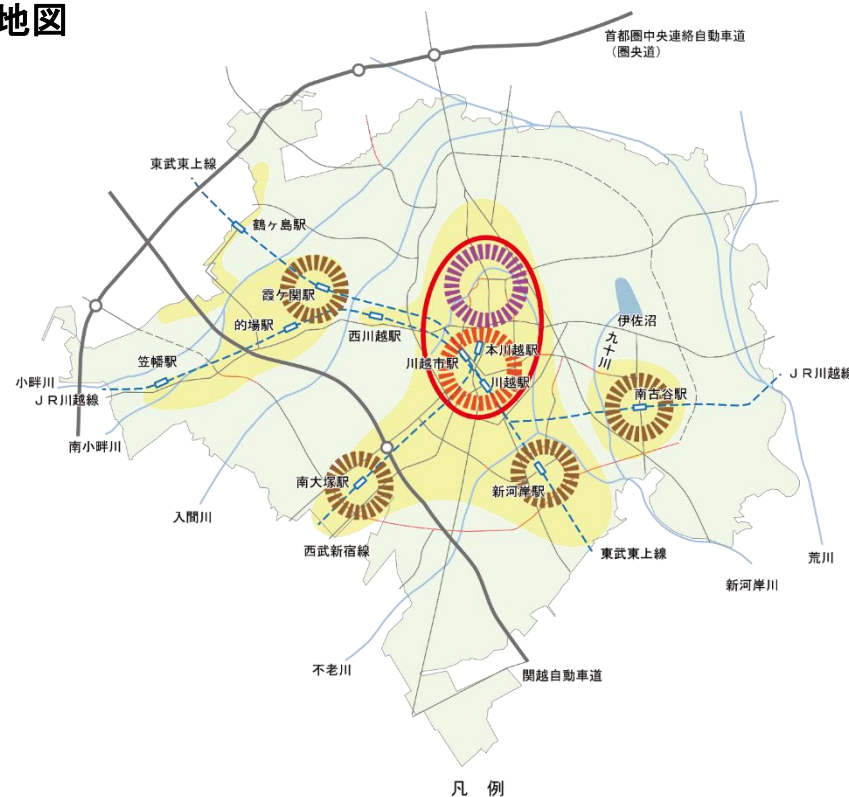
川越市総合計画

川越市都市計画マスタープラン

川越市立地適正化計画

## 対象地域及び区域 市全域

### 地図



#### <核・拠点>

- 都心核
- 都市的活動核
- 歴史・水・緑核
- 地域核

#### <ゾーン>

- 地域活動ゾーン
- 自然共生ゾーン

- 高速道路・インターチェンジ
- 鉄道・駅
- 主要幹線道路  
(一般国道、主要地方道等)
- 主要幹線道路  
(未整備路線(現道なし))
- 主要幹線構想道路\*  
(未整備路線(現道あり))
- 河川・沼

## 地域の現況

### 人口・世帯の状況

本市の人口は、近年、35万3,000人前後で、ほぼ横ばいで推移してきましたが、今後は、本格的な減少局面に突入するものと見込まれ、令和17(2035)年には、34万人を割り込むと見込まれています。

本市の人口の年齢別構成は、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15～64歳)の割合が、それぞれ減少傾向にある一方で、高齢者人口(65歳以上)の割合は増加傾向で推移しています。

総世帯数は増加傾向、平均世帯人員数は減少傾向で推移しています。また、単独世帯数は増加傾向にあり、高齢者の単独世帯も増加傾向にあります。

### 開発の状況

本市の土地利用の状況は、農地・山林が41.4%、住宅用地が22.9%、工業用地が5.4%、商業用地が3.3%等となっており、近年、住宅用地が拡大し、農地・山林としての利用は減少しています。

行政区域の約3割が市街化区域、約7割が市街化調整区域となっており、駅を中心として市街地が形成されています。

また、市人口の約8割が市街化区域に居住しています。一方で、市街化区域縁辺においては、市街地拡大の傾向にあります。

### 地域交通の状況

本市の道路網は、関越自動車道(関越道)が市域南西部を南北に、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が市域北西部を沿うように通っています。

また、国道16号が東西に、国道254号が南北に通っています。鉄道網は、JR川越線、東武東上線、西武新宿線の3線が運行されており、東京都心部や横浜方面へ乗り換えなしでアクセスすることが可能です。また、市内には11の鉄道駅が設置されており、これら鉄道駅は、通勤・通学のほか、本市を訪れる多くの観光客などにも利用されています。

そのほかの地域公共交通として、民間の路線バスや川越市内循環バス「川越シャトル」、デマンド型交通「かわまる」が運行しています。

### 地域資源

本市は、県西部地域の中心都市として農業、工業、商業がそれぞれに発展しており、農業における「農業産出額」、工業における「製造品出荷額等」、商業における「小売業年間商品販売額」は、いずれも県内上位を維持しています。

また、蔵造りの町並みなどを主要な観光資源として観光も発展しています。

多くの高等学校や大学等が立地しており、充実した教育環境となっています。

# まちづくりのコンセプトと事業全体の概要

## まちづくりのコンセプト

生活利便性が高く魅力的な都市であり続けるために、市民や事業者などと協働しながら、三駅（川越駅・本川越駅・川越市駅）や北部市街地をはじめとして、賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、都市機能の集約化を図ります。

また、デジタル技術等を活用した情報発信や、利用しやすく効率的な交通ネットワークの構築を図るとともに、蔵造りの町並みをはじめとした魅力的な都市景観の形成を進めます。

あわせて、安全で快適な生活を送れるよう、災害対策として、太陽光発電やEV等によるエネルギーの確保、無電柱化等を計画的に実施するなど、多くの人が集い行き交う、暮らしやすく魅力あふれるまちづくりを進めます。

## 推進体制

本地域まちづくり計画の実現に向けて、まちづくりのコンセプトに基づき、各事業の着実な推進を目指します。

また、各事業の推進に当たっては、市民や団体、民間事業者、大学など多様な主体との連携促進を図ります。

・川越市都市計画審議会

【構成】川越市、学識経験者、市議会議員、関係行政機関、埼玉県、市民

・川越市駅周辺まちづくり懇談会

【構成】川越市、埼玉県、学識経験者、商工関係者、市民等

・川越市交通政策審議会

【構成】川越市、埼玉県、学識経験者、公共的団体等、一般乗合旅客自動車運送事業者、公募委員等

## 事業全体の概要

### 【コンパクト】

多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で活力を生み出すまちづくり

- ・三駅（川越駅、本川越駅、川越市駅）周辺等については、都市機能施設の集積や交通結節点としての機能の充実により、様々なニーズに対応できる魅力的な都市空間の形成を図ります。
- ・歩行者の安全で安心な交通環境を確保するため、北部市街地における歩行環境の改善や車両流入の抑制などの交通対策を実施します。
- ・商店街の活性化を図るため、補助金交付により、持続可能な商店街のにぎわいづくりを推進します。

### 【スマート】

新たな技術を活用した、人と人とのつながりから広がるまちづくり

- ・利用状況データ等を活用し、デマンド型交通「かわまる」の効果的・効率的な運行を行います。
- ・誰もが安心して観光を楽しめるよう、多言語対応のデジタルサイネージによる情報提供やリアルタイムの駐車場情報を発信します。
- ・ICTを活用し、行政サービス等の情報を効果的な媒体で発信します。
- ・夜間の防犯機能を向上させるため、スマート街灯の導入に関する調査・検討を行います。
- ・水道スマートメーター導入に関する調査・検討を行います。
- ・手続オンライン化などの行政DXを推進し住民の利便性向上を図ります。

### 【レジリエント】

安全・安心で持続可能なまちづくり

- ・災害時に活用できる街区公園等の整備を図ります。
- ・公共施設への太陽光発電設備等の導入を促進します。
- ・無電柱化を含めた道路整備を実施します。
- ・バス車両（川越シャトル）のEV化を推進します。

# 計画図

## コンパクト

- 市内全域 (居住誘導区域内)
- ・商店街振興対策補助事業
- ・空き店舗の活用促進

## コンパクト

- 駅周辺
- ・川越市駅周辺まちづくり事業
- ・川越駅西口周辺地区まちづくり事業



デマンド型交通  
「かわまる」

## スマート

- ・デマンド型交通の効果的・効率的な運行
- ・観光案内所のデジタルサイネージ導入
- ・駐車場の満空情報のデジタル化
- ・ICTを活用した情報発信
- ・LINEによる子育て情報の発信等
- ・スマート街灯
- ・水道スマートメーター導入検討事業
- ・自治体DXの推進



観光案内所の  
デジタルサイネージ

## コンパクト

- ・北部市街地交通円滑化事業



北部市街地

## レジリエント

- ・街区公園等整備
- ・公共施設への太陽光発電、非常用電源設備の設置
- ・無電柱化事業
- ・バス車両(川越シャトル)のEV化



充電ステーション



街区公園等

居住誘導区域

居住誘導区域:コンパクトの要素の実現を目指す区域

# 【コンパクト】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール						備考		
			R7	R8	R9	R10	R11	R12以降			
川越市駅周辺まちづくり事業	市・民間事業者	川越市駅周辺において、持続的で魅力的なまちづくりを推進する。	ビジョン策定	協働まちづくり推進	都市計画変更検討						
			懇談会開催、ワークショップ開催	地元意見交換、民間企業協議							
			都市基盤事業検討業務	・地元合意形成、関係機関協議					・地元同意の取得 ・関係機関との協定締結		
				・都市基盤事業推進業務					・都市施設の調査設計		
川越駅西口周辺地区まちづくり事業	市・民間事業者	川越駅西口周辺に位置する都市計画道路川越所沢線の整備に併せて、多様な機能を集積したまちづくりを進める。	・土地区画整理事業に係る住民説明会、地権者調整 ・事業に沿った新たなまちづくりルールの素案作成	・地元意見交換 ・土地利用規制見直し案の策定	・都市計画変更				・新たなまちづくりルールの周知 ・事業の進捗に沿った土地利用の相談対応 ・住民によるまちづくり組織の検討		
北部市街地交通円滑化事業	市・民間事業者	地域の生活環境を確保しつつ、歩行者が安全・安心に過ごすことができる交通環境の形成を図る。	歩行者天国の試行的実施						交通円滑化対策の検討・推進		
商店街振興対策補助事業	市・民間事業者	商店街等が設置する共同施設や商店街等が行う共同事業に対し補助金を交付することで、商店街の活性化を図り、市内商業の振興や賑わいの創出を図る。							補助金交付		
									・共同施設の管理 ・共同販売事業の企画・運営		埼玉県商店街等施設整備事業（県）を活用予定



# 【スマート】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール					備考
			R7	R8	R9	R10	R11	
デマンド型交通の効率的・効率的な運行	市・民間事業者	デマンド型交通「かわまる」の利用状況データ等を活用し、地域ごとの移動特性等に関する分析を行い、効果的・効率的な運行の見直しを進める。	効果的・効率的な運行の見直し (R6にデータ分析は実施済み)		運用・管理			
観光案内所のデジタルサイネージ導入	市	本川越駅観光案内所及び仲町観光案内所に令和6年9月末にデジタルサイネージを導入。多言語対応による各種観光情報の提供により、外国人観光客を含む来訪者の利便性向上を目的とした受入環境整備をする。	・デジタルサイネージの設置の周知 ・有益な観光情報の提供		・有益な観光情報の提供			
駐車場の満空情報のデジタル化	市	駐車場の混雑や満空状況を把握できる情報環境を整備し、小江戸川越観光デジタルマップおよび小江戸川越観光協会の小江戸川越Web等を通じて、リアルタイム情報として発信する。	小江戸川越観光デジタルマップ等を通じてリアルタイムな満空情報の発信					
ICTを活用した情報発信	市	川越市の事業や防災情報等についてSNS(X、Facebook、LINE)、メール配信サービス、テレビデータ放送等での情報発信を行う。	運用・管理					
LINEによる子育て情報の発信等	市	LINEによる事業の予約機能、子育て情報の発信等を行う。	運用・管理					

# 【スマート】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール						備考	
			R7	R8	R9	R10	R11	R12以降		
スマート街灯の整備	市	夜間の防犯機能を向上させるための多機能型防犯灯導入に関する調査・検討を実施する。								
			先進事例の情報収集、調査、検討等							
水道スマートメーター導入検討事業	市	水道スマートメーター導入に関する調査・検討を実施する。								
			調査・研究							
			実証実験							
自治体DXの推進	市	AI等の先端デジタル技術の活用やデータ分析・利活用により、情報発信や手続オンライン化の拡充など、住民や観光客へのサービス向上を図る。								
			自治体DXの推進							

# 【レジリエント】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール						備考					
			R7	R8	R9	R10	R11	R12以降						
【再掲】 街区公園等整備 (新宿町一丁目広 場整備事業)	市	市民の憩いやレクリエー ションの場、また、災害時 に活用できるよう、街区公 園等の身近な公園の整備を 図るとともに、水や緑等の 自然環境と共生した公園の 整備を推進する。	整備工事	開場記念式典				運営・管理						
公共施設への太陽 光発電、非常用電 源設備の設置	市・民間事業 者	太陽光やEVを活用した停 電時(災害時・非常時)のエ ネルギー確保のための設備 を設置する。						設置・運用						
無電柱化事業	市	(都)中央通り線の連雀町 交差点から仲町交差点「昭 和の街」区間や川越駅西口 周辺地区における川越都市 計画道路事業において、無 電柱化等の整備を実施する。	((都)中央通り線)  (都)中央通り線電線共同溝検討業務			(都)中央通り線 都市計画変更		(都)中央通り線電線共同溝工事						オーバーツーリズム の未然防止・抑制に よる持続可能な観光 推進事業 社会資本整備総合交 付金公共事業等債 ほか(国)を活用予 定
			(川越駅西口周辺地区) 用地取得	・用地取得 ・道路築造工事				道路築造工事						
								土地区画整理事業						
バス車両(川越 シャトル)のEV化	市・民間事業 者	川越シャトルの車両更新時 に、EV車両の導入を検討 する。						バス事業者と調整						

# KPI

コンセプト	指標	基準値(調査時点)	目標値(達成年度)	備考
全体共通	川越市に住み続けたいと感じている市民の割合(%)	88.6 (R6)	90.6 (R17)	第五次川越市総合計画
コンパクト	市街化区域の人口密度(人/ha)	83.8 (R2)	80.0 (R17)	第五次川越市総合計画
スマート	デマンド型交通「かわまる」利用者数(人/年)	14,923 (R6)	14,923以上 (R17)	第五次川越市総合計画
スマート	手続きのオンライン化率(%) 書面や対面など、アナログ的な手法による必要がある手続きを除く。	12.2 (R6)	100 (R17)	第五次川越市総合計画
レジリエント	公共施設における太陽光発電の設置数(施設)	88 (R4)	95 (R12)	第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施設編)